



札幌文化芸術劇場
hitaru

SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER



主催 / 札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後援 / 札幌市、札幌市教育委員会



February 9 Sun., 2025
2:15 p.m. Open 3:00 p.m. Start
Running time is approx. 1 hour 40 mins including interval

Sapporo Cultural Arts Theater hitaru

hitaru creation

Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX

New World

2025.2/9 SUN

15:00 開演 (14:15 開場)

予定上演時間 約1時間40分 (休憩含む)

会場/札幌文化芸術劇場 hitaru



助成 /



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
独立行政法人日本芸術文化振興会

(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

About

Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX New World

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。当事業は、魅力ある新たなパフォーミングアーツを創造・発信し、ご来場の皆様にお楽しみいただくのはもちろん、関わるアーティストやスタッフの制作能力の向上、そして地域が活性化することを目指し、hitaruがセルフプロデュースするものです。おかげ様で、Creative Art Mixは2年間に及ぶクリエイティブスタジオでのクリエイションを経て、3年目となる今回の劇場公演を迎えることが出来ました。

クリエイティブスタジオでの公演はいずれも早期に完売したほか、前身となるCreative Opera Mixシリーズでもいずれの公演も好評を博し、95%以上の来場者満足度を記録することができ、hitaru creationとしては今回が6年間の集大成の公演となります。

前作Vol.2〜Classical Jewels〜は、クラシックの名作を現代感覚のアレンジにより蘇らせ、一つ一つが輝きを放つ珠玉のようにクリエイションされた楽曲を集めたオムニバスライブでしたが、今回はその拡大版であるとともに、2045年に来るとも言われるシンギュラリティを目前に、古の時代まで遡り、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会、シンギュラリティ〜New Worldの5シーンをイメージした構成で、斬新な編曲、多様なジャンルのダンス、映像演出などにより、時代や社会の変遷を描き出します。

本公演では主要ダンサーが、精神・生命の象徴や禍を動かす存在、また、それぞれの時代で変わりゆく存在としてパフォーマンスを展開します。急速に進化するAIの進化の果てに残る真実とは何か？一曲ごとの魅力に加え、より抽象度を上げ、俯瞰するようなイメージでお楽しみいただけますと幸いです。

また、Creative Opera Mixの作編曲を担当いただき、共に公演を創り上げてきた仲間である福由樹子さんが、2024年2月に天国へと旅出されました。謹んで哀悼の意を表し、本日は福さんとDJ TAMAさんが編曲した“ワルキューレの騎行”を再演いたします。

本日を迎えることが出来ましたのも、応援して下さいました皆様をはじめ、関係者の皆様のご尽力のおかげです。ここに深く謝意を表したいと思います。

今後も当事業を通し、よりお楽しみいただける公演をプロデュースして参りたいと考えておりますので、ご注目いただければ幸いです。

札幌文化芸術劇場 hitaru

STAFF

- 編 曲 / 小野健悟、DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST
- 振 付 / 郷 翠、西野留以、鈴木明倫、髪立ツカサ、坪田みなみ
- 振付アシスタント / 坂本菜々子
- ダンスシーン / 高橋 学 (ダンススタジオマインド)、構成演出 鈴木明倫 (DANCE STUDIO LoRe)
- 衣裳協力 / 石岡美久 (algorithm)
- 協 力 / 一般社団法人北海道ダンスプロジェクト (HDP)

- 照 明 / 戸高健司 (北海道ステージアートアライアンス)
- 音 響 / 石井悠貴 (北海道ステージアートアライアンス)
- 技術監督 / 齋藤 玲 (札幌文化芸術劇場 hitaru)

- 宣伝美術 / 若林瑞沙 (Studio. COPAIN)
- プログラム作成協力 (原曲解説・監修) / 千葉 潤 (札幌大谷大学学長)
- スチール / 定久圭吾 (doppietta)

- 映 像 / モンマユウスケ、Wajima
- 舞台監督 / 澤井裕樹 (北海道ステージアートアライアンス)

- 制 作 / 札幌市民交流プラザ 劇場事業課
- 企画プロデュース / 高橋秀典 (札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー)



SOCIETY 1.0 hunting society

スメタナ 連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」(1874年作曲)

CLASSICAL~HIP HOP arrange

チェコ王国の過去の栄光と悲哀を綴ったスメタナの楽曲を、原曲の魅力はそのままにHIP HOPアレンジし、「自然の恵み」「自然の厳しさ」の二面性を表現。(編曲:DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST)(振付:西野留以)



チェコの伝説や自然、歴史を6つの連作交響詩で表現する『わが祖国』。最も有名な第2曲「モルダウ」は、小さな水源からやがて大河へと成長する様子を通して、祖国の自然を称える。

ボロディン オペラ『イーゴリ公』より「鞑靼人の踊り」(1869~70年作曲)

CLASSICAL~JAZZ arrange

オペラ『イーゴリ公』より、単独での演奏機会も多い有名曲「鞑靼人の踊り」にCLASSICALアレンジを施し、バレエとのコラボレーションを実現します。(編曲:小野健悟)(振付:郷翠)



ロシア独自の音楽を追究したボロディンにふさわしく、オペラ『イーゴリ公』は国民音楽の傑作と評され、その中で歌い踊られる「ダッタン人の踊り」は単独で演奏される機会も多い。

SOCIETY 2.0 agricultural society

ドリーブ オペラ『ラクメ』より「花の二重唱」(1883年作曲)

POP arrange

気品ある美しいメロディで人気の「花の二重唱」を、現代的なPOPアレンジと、倉岡陽都美の歌唱によりお届けします。(編曲:小野健悟)



インドを舞台とする『ラクメ』は、バレエ『コッペリア』でも有名なフランスの作曲家ドリーブのオペラであり、「花の二重唱」は二人の女声ハーモニーが印象的なナンバーである。

グリーグ 『ペール・ギュント 第1組曲』より「朝」(1875年作曲)

CLASSICAL arrange

ヘンリック・イブセンの劇のための曲『ペール・ギュント』を改編した『ペール・ギュント 第1組曲』から「朝」を、コンテンポラリーダンスと舞踏のコラボレーションで創り上げます。(編曲:DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST)(振付:鈴木明倫)



『ペール・ギュント』は、若い放浪者が富と冒険を求めて旅をする物語。ノルウェーの作曲家グリーグが同郷の作家イブセンの戯曲に作曲した劇音楽は、北欧らしい叙情性や透明感に溢れている。

ベートーヴェン 交響曲第9番二短調「合唱付き」より第4楽章(「歓喜の歌」)(1824年作曲)

R&B/SOUL arrang

「第九」の愛称で知られ、日本では年末の風物詩として全国で演奏される楽曲を、R&B/SOULアレンジで倉岡陽都美の歌唱によりお贈りします。(編曲:小野健悟)(振付:鈴木明倫)



ベートーヴェン最後の交響曲である「第九」は、オーケストラに声楽を融合して、「音楽の革命家ベートーヴェン」の芸術的極致を示す。独唱や合唱が歌う第4楽章の主題は「歓喜の歌」としても知られる。

SOCIETY 3.0 industrial society

スッペ オペレッタ『軽騎兵』より序曲(1866年作曲)

JAZZ arrange

スッペの代表作であるオペレッタ『軽騎兵』より序曲を、JAZZアレンジにより、産業革命の始まりを表現します。(編曲:小野健悟)



『軽騎兵』はオーストリアの作曲家スッペのオペレッタだが、作品自体の上演機会は少なく、トランペットのファンファーレが印象的なこの序曲によって知られている。

ビゼー オペラ『カルメン』より「恋は野の鳥」(「ハバナネラ」)(1873~74作曲)

R&B/SOUL arrange

オペラのなかでも特に人気な演目の一つ『カルメン』より、代表曲「恋は野の鳥」を倉岡陽都美の歌唱でお届けします。(編曲:小野健悟)(振付:坪田みなみ)



オペラ『カルメン』はスペインの兵長とロマ女性との恋のもつれを描く。タイトル・ロールが変わりやすい恋心を歌う「恋は野の鳥」は、「ハバナネラ」(ハバナの舞曲の意)とも呼ばれる。

ラヴェル 「ボレロ」(1928年作曲)

TECHNO arrange

同じリズムが繰り返されるシンプルさが魅力の、モーリス・ラヴェルが作曲したバレエ音楽「ボレロ」を、TECHNOアレンジとコンテンポラリーダンスでお贈りします。(編曲:DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST)(振付:鈴木明倫)



管弦楽曲として有名な「ボレロ」だが、本来は女性舞踏家イダ・ルビンシテインの委嘱を受けて書かれたバレエ音楽である。2つの主題を反復しながら、独奏からオーケストラ全体へと壮大なクレッシェンドを作り上げる。

SOCIETY 4.0 information society

ラフマニノフ 「ヴォカリーズ」(1915年作曲)

R&B/SOUL arrange

ラフマニノフの作品の中でも特に人気のある「ヴォカリーズ」を、美しい歌唱とそれを支えるピアノを中心としたバンドによりお届けします。(編曲:小野健悟)



「ヴォカリーズ」とは歌詞をもたない母音唱法を指す。帝政ロシア末期に活躍したラフマニノフによる本作は、憂いに満ちた美しい旋律で特に人気が高い。

ショパン 「革命のエチュード」(1831年作曲)

ELECTRONIC arrange

「革命のエチュード」の疾走感のある旋律に電子音楽アレンジを施し、ダンスと融合するエネルギッシュなナンバーを創り上げます。(編曲:DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST)(振付:西野留以)



祖国ポーランドの民衆が帝政ロシアに対して武装蜂起した際、ショパンが怒りの感情をぶつけて作曲したとされるピアノ曲で、友人であるフランツ・リストに献呈された。

メドレー (バッハ「トッカータとフーガ 二短調」~ ベートーヴェン 交響曲 第5番「運命」)

ROCK/CLUB JAZZ etc. arrange

バッハのオルガン曲「トッカータとフーガ 二短調」、ベートーヴェン 交響曲第5番ハ短調「運命」などのクラシックの有名曲を斬新なアレンジを加えて、バンドメドレーとして演奏します。(編曲:小野健悟)



- バッハ「トッカータとフーガ 二短調」(1708年頃作曲)
バッハのオルガン曲でも特に人気のある作品。自由に即興的なトッカータと、厳格な対位法を用いたフーガが対比される。
- ベートーヴェン「運命」(1807~08年作曲)
主題について、ベートーヴェン自身が「運命はこのように戸をたたくと語ったとされることからこの通称で呼ばれる、交響曲を象徴する作品。



SOCIETY5.0 singularity

New World

リヒャルト・シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」(1895~96年作曲)

ELECTRONIC arrange

未知なる壮大な何者かが雲を割って現れるような、想像をかき立てる神秘性に満ちた本曲を、「大きな変化の前兆」をテーマに、壮大なCLASSICALアレンジでお贈りします。
(編曲:小野健悟)



ドイツの哲学者ニーチェの著作に基づき、シュトラウスが自由に作曲した交響詩。
その劇的な冒頭部分は、映画「2001年宇宙の旅」で象徴的に使用されたことでも有名。

ワーグナー オペラ『ワルキューレ』より「ワルキューレの騎行」(1854~56年作曲)

CLUB arrange

「Creative Opera Mix」シリーズで好評を博した「ワルキューレの騎行」が復活。「Creative Art Mix」バージョンとして、躍動的なダンスとコラボレーションしてお届けします。
本楽曲は、前回シリーズ「Creative Opera Mix」でバンドマスター/編曲を担当した故・福由樹子氏のアレンジを本公演用に調整の上、当時の音を再現しました。
(編曲:福由樹子、DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST) (振付:坪田みなみ)



楽劇『ワルキューレ』は、北欧神話に基づく壮大なオペラ4部作『ニーベルングの指輪』の第2作目をなす。
「ワルキューレの騎行」は、女戦士ワルキューレたちが戦死者の魂を集める場面で奏される。

ホルスト 組曲『惑星』より「火星」「木星」(1914~16年作曲)

JAZZ arrange

ホルストの人気曲 組曲『惑星』より、緊張感ある旋律の「火星」と、日本でも有名ポップス歌手のアレンジで知られる「木星」を、舞踏、コンテンポラリーダンス、バレエのコラボレーションで表現します。
(編曲:小野健悟) (振付:郷翠、鈴木明倫、髯立ツカサ)



イギリスの作曲家ホルストの『惑星』は、7つの惑星に因んだ管弦楽組曲。
占星術に着想を得て、各曲にはローマ神話に由来する副題が付され、「火星」は「戦争の神」、「木星」は「快樂の神」と題されている。

レオンカヴァッロ オペラ『道化師』より「衣装をつけろ」(1892年作曲)

METAL~ELECTRONIC arrange

ヴェリズモ・オペラの名作『道化師』から、テノール歌手によって歌われる愛と憎しみのアリアを、METALアレンジで倉岡陽都美が歌い上げます。
(編曲:小野健悟) (振付:西野留以)



オペラ『道化師』は、旅芸人一座の座長カニオが、妻の浮気を機に嫉妬に狂っていく物語。
カニオのアリア「衣装をつけろ」は、嫉妬や怒りを堪えて道化を演じる悲哀を歌う。

ブッチェニ オペラ『トゥーランドット』より「だれも寝てはならぬ」(1921~24年作曲)

HEALING arrange

ブッチェニ未完の名作で、古代中国を舞台とした『トゥーランドット』より、有名アリア「だれも寝てはならぬ」を倉岡陽都美による歌唱でお届けします。
(編曲:小野健悟) (振付:西野留以)



古代中国の北京を舞台にした『トゥーランドット』は、美しくも冷酷な姫トゥーランドットの愛を得るべく謎かけに挑むカラフの物語。彼が愛を確信して歌うこのアリアはテノール歌手の代表的なナンバーだ。

ドヴォルジャーク 交響曲第9番 ホ短調「新世界より」第4楽章(1893年)

ROCK arrange

ドヴォルジャークがアメリカ滞在中に、故郷チェコを想って作曲した「新世界より」の第4楽章を、METALアレンジでお贈りします。
(編曲:DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST) (振付:鈴木明倫)



チェコの作曲家ドヴォルジャークが、当時はまだ「新世界」だったアメリカ滞在中に作曲した名作。
日本ではベートーヴェン「運命」、シューベルト「未完成」と並び“三大交響曲”として親しまれている。

Cast

編曲/サクス 小野 健悟



大学生時代に北大ジャズ研究会に所属、ジャズを中心に活動の幅を広げる。自己のバンドでの全国ツアー及び、その他数々の大きなイベント、ステージ参加、多くの著名アーティストと共演及びライブサポートを務める。2015年、伊藤広規with SPYCEにてライジングサンロックフェスティバルに出演。国内最大級のジャズフェスティバル、サッポロ・シティ・ジャズにおいてシングル楽曲制作、ディレクター業、演奏活動、アレンジなど音楽制作活動、ワークショップ講師等を務め、育成活動にも力を入れている。

編曲/DJ DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST



「DJスクール札幌」を主宰。「DJ」という職業、業(ごう)を通して、札幌を起点にあらゆる人種や音楽ファンをコネクトする「プロ中のプロ」。2009年より海外ツアーを毎年行いこれまでに、タイ、アメリカ合衆国、韓国、ベトナム、ミャンマー、台湾、香港、中国に加え、2024年はイギリス、スイスの2カ国8公演のヨーロッパツアーを成功させるなど、ワールドワイドに活躍。Bリーグ レバンガ北海道のホームゲームのDJ、スキージャンプワールドカップ、REDBULL400や車いすバスケットボールCP3x3などのスポーツの会場も熱狂させている。

ソプラノ 倉岡陽都美



昭和音楽大学卒業後イタリアへ。オペラの名門ボイト国立音楽院で学び、満場一致の満点及び賞賛で卒業。パルマ王立歌劇場附属研修所で研鑽を積み劇場デビュー、イタリア国内外で活躍。15年の活動を経て帰国、札幌コンサートホールKitara、札幌市教育文化会館、札幌文化芸術劇場hitaru各主催公演、HTBシルベスターコンサート等多数出演し好評を博す。来月hitaru オペラプロジェクト「ドン・ジョヴァンニ」へ出演予定。第31回道銀芸術文化奨励賞、北の聲アート賞奨励賞受賞。北海道日伊協会会員、藤原歌劇団正団員。

クラシックバレエ 郷 翠



1999年、札幌舞踊会へ入会、千田雅子に師事。千田雅子始め、坂本登喜彦振付の作品など、札幌舞踊会の全公演にて主要な役を務める。フランスのカヌヌ ロゼラ ハイタワーや、ニューヨークへの短期留学、2012年、ザ・バレコン札幌第1位、2022年札幌文化団体協議会より「芸術選賞(舞台部門 洋の部)」を受賞。2023年hitaruバレエプロジェクト第1回公演「くるみ割り人形」(全幕)(演出振付 千田雅子)では、アラビアを踊り好評を得る。

ストリートダンス 西野 留以



Fe.dance studio 所属。4歳より札幌舞踊会にてクラシックバレエを始め6歳から自身のスタジオにてオールジャンルを学び、幼少より数々の舞台を踏みダンスコンテスト等でも全国優勝を果たす。2018年北海道未来チャレンジ基金・文化芸術第1期生として選出されロサンゼルスに留学。帰国後は道立三岸好太郎美術館にてダンス公演を行う。札幌文化団体フェスティバル舞台部門芸術選賞受賞。札幌文化団体協議会・北海道ダンスプロジェクト等のダンス文化・芸術の向上に向け様々なダンスシーンにて活動中。

コンテンポラリーダンス 鈴木明倫



DANCE STUDIO LoRe主宰。10歳より踊り始め様々なジャンルを学んだ後、北海道の自然から受けるインスピレーションを自身の踊りに構築する。東宝ミュージカル「エリザベト」全国ツアーにトートダンサーとして225回の公演に出演、TBS・ホリプロ主催「ロミオ&ジュリエット」東京、大阪公演にR&Jダンサーとして出演等。また韓国(ソウル、コヤン)・香港・マルセイユの国際フェスティバルに招聘され作品の発表やWSを行う等海外でも活躍する。第59回札幌文化団体フェスティバル芸術選賞受賞。令和6年度札幌文化団体協議会文化奨励賞受賞。

舞踏 髪立ツカサ



2014年、舞踏家田仲ハルに師事。2016年、初ソロ公演「み間違い」、翌年2017年には欧州4カ国ツアー(ドイツ、イギリス、ポーランド、オーストリア)を果たす。2018年、北海道舞踏フェスティバル招聘ソロ公演「馬頭駒」出演。2019年、Taiwan International Darkness Dance Festival(台湾)〜継承と革新〜舞踏新時代(京都)等に参加。2014年以降、田仲ハル率いる舞踏集団「極北会」主要メンバーとして、多数の舞踏公演に参加。

ジャズダンス 坪田みなみ



2000年よりダンススタジオマインドにてダンスを始め、マインド公演やHDP公演等に出演。また北海道学生ダンス連盟sparkに所属し代表として、イベントの主宰運営やコンテストへの挑戦、連盟公演「Dream!」において構成・演出・出演。2015年「史上最強の移動遊園地 DREAMS COME TRUE WONDERLAND 黒ドリ?」出演。2024年「Creative Art Mix Vol.2〜Classical Jewels〜」出演。

クラシックバレエ 菊地 研



2000年牧阿佐美バレエ団入団、2002年「くるみ割り人形」にて主役デビュー後数々の作品で主演。2020年からはプリンシパル兼任アシスタントバレエマスターとして作品指導も行う。2024年に退団し、現在はフリーランスとして活躍。その他のおもな経歴にローラン・プティの招待によりフランス シャンゼリゼ劇場・ロシアポリショイ劇場にて「若者と死」、「ピンク・フロイド・バレエ」など踊る。新国立劇場開場10周年作品、椿姫にゲスト主演。草刈民代芸術監督、INFINITYにて中村祥子、菅原小春、辻本知彦と共演。第37回舞踊批評家協会賞新人賞、第37回ニムラ舞踊賞受賞。

Visual production

映像



モンマユウスケ

映像撮影・監督、アートディレクション、グラフィックデザインなど、横断的にクリエイティブに携わった活動を行う。

映像



Wajima

グラフィックデザイナー、Webデザイナーとして活動。インタラクティブな映像を用いてVJを行う。

BAND / DANCE

サクソ



岡本育美

ヴァイオリン



長谷川加奈

ヴィオラ



今井佑佳

ギター



荒川剛

ピアノ・
キーボード



林佳一郎

ベース



青木務

ドラム



酒井颯太

Fe.dance studio

主宰、西野哲也。南平岸を拠点とし多彩なダンスジャンルの講師陣が集う。
ダンス未経験者からプロダンサー志望者まで幅広く対応している。

澤田 桃花 ◆ 齊藤 凜 ◆ 河村 志帆 ◆ 永井 風葉 ◆ 田居 美優 ◆ 澤尻 怜愛

DANCE STUDIO LoRe

地下鉄中島公園駅すぐ近くにあるジャズやコンテンポラリーを主軸としたダンススタジオ。
「北海道から世界へ」をモットーに若手育成に励む。

坂本菜々子 ◆ 杉村美緒菜 ◆ 土田 里奈 ◆ 菅野 朱音 ◆ 池田 悠乃 ◆ 梅田 裕羽
大島まひろ ◆ 岡元 夢奈 ◆ 小路 凜佳 ◆ 高津ひなた ◆ 田中 心優 ◆ 中坪明日美
西澤 妃菜 ◆ 三宅 一蓮 ◆ 吉田 有加 ◆ 菅原 一乃

Dance Studio mind (舞人)

1980年設立。札幌中心部に本部を置き20名のインストラクターが道内26か所でレッスン開講。
イベント、コンテスト、ワークショップ、国際親善交流事業参加などダンス普及のため多彩な活動をおこなっている。

T A I G A ◆ 尾村琉希哉 ◆ 佐々木空翔 ◆ 佐藤 瑠南 ◆ 伊藤 未来 ◆ 川池菜々花
杉山 敦子 ◆ 高倉 梨菜 ◆ 土橋 結愛 ◆ 平野てまり ◆ 飛鳥 凜子 ◆ 小川 愛莉
佐藤 瑠歩 ◆ 山内麻由佳 ◆ 石井 来実 ◆ 加賀 優奈 ◆ 松宮 一加 ◆ 渡邊 想叶
今 千織 ◆ 飯塚 七菜 ◆ 安斉姫菜乃

hitaru creation

本公演は、札幌文化芸術劇場 hitaruが札幌で活動する芸術家と連携し、セルフプロデュースする新規創造事業です。

hitaru オフィシャルスポンサー

ニトリ、アイングループ、イオン北海道、札幌田中病院、富士メガネ、CO・OP共済、札幌丸井三越、北央病院、北星学園大学、北海道コカ・コーラボトリング、北海道新聞社、ホテルモントレグループ、練成会グループ

MORIHICO、アミノアップ、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌都市開発公社、札幌柏葉会病院、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大和証券、日本航空、福山倉庫、藤女子大学、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道テレビ放送、丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、小鍛冶組、北海道ガス、會澤高圧コンクリート、旭イノベックス、SOC、遠藤興産、三精テクノロジーズ、トーヨーエンジニアリング、ホクリヨウ、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、南一条脳内科、朝日新聞社、アムテック、アルシス、アルティウスリンク、アルファ技研、池田熱処理工業、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、H.Eグループ、H・N・メディック、TAT札幌、北空、栗林商会、五島冷熱、さくら総合会計、札幌商工会議所、札幌スパインクリニック、さっぽろ寺山修司資料館、札幌デンタルケア、さっぽろ内科・リウマチ膠原病クリニック、サッポロホールディングス、札幌労務管理、システム・ケイ、ジャパンテクニカルソフトウェア、庄内こどもの歯科、新札幌駅前内科循環器、蘇春堂形成外科、大成建設、タイムズ24、みよしの、さっぽろ東急百貨店、内科丹田クリニック、なりた耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック、日本電技、ノース技販、博愛会、ひびき、福住泌尿器科クリニック、北海道銀行、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントアライブ、みたに胃腸内科、明治安田生命、元町皮ふ科、山二、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、札幌テレビ放送、北海道放送、テレビ北海道